

## 井戸兵庫県知事の退任表明に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 家次 恒

これまで二十年近くにわたり、強い指導力をもって、県勢発展に尽くされてきただけに、この度の退任表明については、率直な気持ちとして残念でならない。

井戸知事は、阪神・淡路大震災からの創造的復興の意志を受け継ぎ、幾多の災害や苦難を乗り越えながら、安全安心な兵庫づくりに努めてこられた。

また、県内への企業誘致やインフラ整備、次世代産業・研究機関の集積促進などを通じて地域経済を一段高みに押し上げてこられた功績は、高く評価されるべきものである。

さらに、関西広域連合のリーダーとして、十年の長きにわたり、関西を一つにまとめ、新たな広域行政モデルを内外に示してこられた。

一方、コロナ禍の影響で地元経済が疲弊する中、足下の感染症対策・経済対策はもとより、ポストコロナに向けて、いかに地域経済を回復軌道に乗せていくか、人口減少社会という構造的な問題にどう対応していくかが喫緊の課題となっている。

残された任期の中、県政運営に全力を尽くされるときにも、ポスト井戸県政にあっても、継ぎ目なく、これら重要課題に対処し、的確な政策運営が行われることを期待している。

令和二年十二月十一日